

## 平成 26 年度 第 2 回 湖南省立図書館 図書館協議会

- 開催日時 平成 26 年 10 月 19 日(日) 午前 10 時 5 分~12 時
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 9 人 欠席者 1 人  
教育長  
図書館事務局 3 人
- 傍聴人 1 人
- 議事
  - 1.平成 26 年度 市立図書館上半期事業実績報告について
  - 2.湖南省行政改革外部評価委員会について
  - 3.図書館評価について
  - 4.「ビブリオバトル in KONAN」について
  - 5.意見交換、協議
  - 6.その他

## 【傍聴人の確認】

## 【教育長あいさつ】

## 【資料確認】

会 長	みなさんおはようございます。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。限られた時間ですが効率よく進めたいと思いますので、どうかご協力よろしくをお願いします。今日の議題はそこに挙げられた通りでございます。教育長のおられる時間も 11 時 30 分ということですので、我々の意見等を出していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。早速ですが議題の 1 の方事務局の方から説明をお願いします。説明の区切りの良いところでご質問や意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくをお願いします
-----	--

## 【市立図書館上半期事業実績報告について説明】

会 長	これに関して、何かご意見があるようでしたら。 それでは 2 番目の議題ですが、事務局の方からお願いします
-----	---

## 【湖南省行政改革外部評価委員会について説明】

会 長	みなさんのご意見を伺う前に私の方から説明をさせていただきます。まず、外部評価委員会について 30 日の午前は図書館の見直し、午後は東西庁舎機能の見直しになっています。既に第 1 回目は下水道関係というように単発的にテーマをあげて行われます、外部評価委員会というのはホームページを見ますと 5 名の評価委員の方で確か 4 名が大学の先生で 1 名が公認会計士の方であったと思います。その方たちが湖南省の財政逼迫の中で、意見を市当局に提言する。その中の一環として図書
-----	---

	<p>館の見直しが 30 日の午前 10 時 20 分から 12 時までの約 1 時間 40 分開かれます。担当課からまず説明を行い、市民参加者が意見を述べる。これは私と区長会の代表の区長さんと二人で意見を述べる。その後質疑応答があつて、さらに外部評価委員のかた、当日 3 名だと聞いておりますが、その方がどのように評価したか、なぜそのように評価したかというコメントを説明されます。最後に委員会としての評価、講評をされます。私としては図書館のボランティア等の団体もある中で、財政課の方から図書館協議会として発言するのに出てくれという要請がございましたので、それを受けたような次第であります。持ち時間が 2 名で 10 分ということですが、私なりに皆さんと意見交換しながら特に委員の方から利用者としてのご意見を組み込んだ形で要領よく説明をしたいと思っておりますので、ご意見を伺いたいと思っております。今回の外部評価委員会はこの資料で説明ということですが、あくまでも問われているのは、施設コスト等の客観的な調査分析、直営の妥当性と民間委託の検討、2 館の必要性と新たな図書館サービスということが外部評価に係るということで皆さんのご意見をお伺いします。</p>
委員	<p>行政改革の外部評価委員というのは何ですか。財政が逼迫しているため図書館の見直しあるいはまちづくりセンターでもわいわいやっていますが、そういう施設はなくてもよい、廃止するというようなことを評価するところですか。</p>
館長	<p>外部評価については、第二次行政改革大綱が定められ、それに基づいて実施計画ができています。その実施計画の公共施設の見直しの中で、図書館の見直しということでこの 3 項目が入っています。今委員がおっしゃられているように、まちづくりセンターも外部評価の項目にあがっています。財政状況が厳しい中で、選択と集中といったことで事業は進めていく必要があります。なんでもできるという時代ではないので、市が判断する上で、外部評価委員会から意見や提言をいただきながら進めていくといったことになっております。</p>
委員	<p>基本的に私が思っていることと同じですので、わかりました。それではこの資料に基づいて検討されるわけですが、民間委託の問題で必ずしも経費節減にならないとありますが、数字的な根拠がないままでは納得させられないのではないですか。</p>
会長	<p>私も甲賀市や近江八幡市の事業仕分けに参加させていただきましたが、一定の書式の資料で説明するようになっていきますので、私も数字的なことは必要であると思っておりますが、足りないところは私が応援させていただきます。図書館協議会としての立場だけでなく市民として財政が逼迫しているからということだけで杓子定規に判断されないように話をしてきます。そういったことで引き続きご意見をお願いします。</p>
委員	<p>何回か前に当協議会で事務局の方で民間委託した場合の数字を出していただきましたが、参考にはしないのですか。</p>
会長	<p>当日これ以外の添付資料を出すということはないですか。</p>

館長	当日出すということはありません。
委員	必ずしも経費の削減にならない根拠を言われた時にどうするかということです。
館長	その時は数字をあげて説明することになります。
会長	手持ち資料で用意してということだと思うが、言われっぱなしにならないようにということです。
委員	具体的な数値を示す資料はあるのですかと聞かれた場合に、このような試算をしていますというものを当日は用意をされるということですか。
館長	はい。
会長	マスコミでもありますが、いろんなところに出したらよくなるよということを覆すのは数字しかないだろうと思います。
委員	サービスなどはデジタル化できないものですので、そこが一番自治体の運営の良さだろうと思います。数字的にも湖南省のレベルは高いものですが、そういうものはデジタル化できません。
委員	外部評価委員会で図書館の見直しという項目にあたられる訳ですが、図書館の場合は体育館などとは違って、10年先20年先といったある程度長いスパンの目的を持って活動しています。極論ですが図書館自体必要であると思っているのか、文化に対する感覚はどうかのかわかりません。
会長	私もよくわからないのですが、外部評価委員会で決まったことについての拘束力、あるいは外部評価委員と市当局との関係というのはどうか、決まったことは市に対してどうか。図書館協議会ならその意見は尊重されるということですが、どうですか。1館にすべき、あるいは直営にすべきとか最後の15分で意見が述べられた場合拘束力がどれほどあるのかわかりませんが、かなり重視はされますか。
館長	最終的には市が判断することになりますが、行政改革に関して意見を述べ提言を行うとなっています。
会長	判断材料になるということですが、1館という結論が出たということでそうなりますか。
館長	参考にはされることになります。
委員	方向性があるということになりますか。
館長	そういったことも考えられます。外部評価委員の提言がすべてその通りになるかはわかりませんが、参考にして実施すべきことは実施されるということになります。
会長	今図書館の活動というのは文化的な活動であって、短期のスパンではなくて子供たちの将来に関わるような長期のもので、すぐに結論付けられるようなものではないといった趣旨のご発言をいただきましたので、これについて私なりに咀嚼して当日意見を述べさせていただきます。
委員	前にもこう事業仕分けがありました、あの時にこの図書館は菩提寺の方が石

	<p>部図書館が近いので石部図書館に返却する。そしてまたこちらの図書館に運ばれる。そういう単なる運搬については人件費としてもアルバイトで対応するなどして、そこに司書を使う必要がないという意見も出ていました。そういったことについても単なる本を運搬するのではなく、どういった本が市民に読まれているということを知ることが大切であって、書架に本を返す時も常に考えながら返すことで、どのような本が動いているかということを感じる。カウンター業務についてもそうである。その辺のところは今言われたことに繋がるのですが、外部評価委員の方が図書館の本質について、図書館の见えないサービスについて理解していただけているのかが分からない。それから、2館ということについてもそれは1つにした方が財政的には抑えられるでしょうけれども、2館の必要性ということについて、単にこんな小さな市なのでひとつでよいのではないかとといった認識でおられるのであれば図書館の本質を見ていただけてないのではないかと危惧します。</p>
会 長	<p>平成 17 年に甲西と石部が合併して、その後の現象を見ている中で、甲西の人も石部の本が借りられる。石部の人も甲西の本が借りられる。あるいはもともと甲西町であるが地理的には石部の方が近いから石部でかなりの用が足せる。合併の効果で両方の図書館が使える、私としては以前より近いところで本が借りられるといったメリットをものすごく享受していて、1館になることを前提として申し上げている訳ではありませんが、これが1館になるとまた遠いところで借りなければならない。皆さんにとって1館になった場合のデメリットというものはどうでしょうか。財政的には仕方がないというものなのかどうでしょうか。</p>
委 員	<p>私の場合は交通手段がないので、できるだけ近いところで歩いて行けるところにあるのが最適で、遠くなれば本を借りるために動くことはなくなるだろうと思います。交通手段がないので市役所でもそうですが、バスがなければこういうところは利用できないということになります。これからますます高齢化ということになると乗れてもだんだん乗れないということにもなります。それから言えば公共の交通手段は絶対必要になるので、図書館2館だけではないのですが、図書館の存在意義はとても大きいのではないかと考えています。文化や知識の拠点となるものなので、それをいかに存在させるか、どのような立地にするのかというのは市として重要な部分ではないのかと思います。</p>
委 員	<p>定年後の方々が、たくさん本を読むようになられて、私も定年後読むようになりましたが、今言われたように交通手段がありません。今の高齢化の時代をみて、今こそ定年された方々に生きがいや社会貢献など、ある一面公民館活動と重なる面があると思いますけれども、定年後の方を対象にこのようなことをしようと言われたときに私も交通手段がありません。1館になれば調べものしようとしてもできなくなります。</p>
委 員	<p>市の財政状況がどれほど逼迫しているかによると思います。北海道の夕張市のよ</p>

	うに財政が破たんするようなことであれば当然図書館が2館あってもなくしてしまおうとか、出先の集会所はなくしてしまおうとか当然なる訳で、5名の委員さんが財政状況によって判断されるということが根底だろうと思います。
委員	今後の方向性のところでびっくりしたのですが、敷地が借地であるということを知りました。初めて知ったのですが、図書館というのは恒久的なものです。図書館をつくる時に土地を借りて作るようなことは大きな間違いであったとおもいます。年間の借地代金もかかります。当然イニシャルコストはかかりますが、このような公共的なものを建設する時にはやはり自分の土地に建てるべきだと思います。土地を借りていたことを知ってびっくりしました。その当時どうだったのかと思います。民間では考えられません。これは根本的に見直さないとだめだと思います。今からでも土地を買収するとかしないと、このままではとんでもないことになってしまいます。何年か後に潰すという計画であれば別ですけども。
会長	今委員さんおっしゃっていただきましたが、気のなるのは対応年数50年ですが、まだ20数年しかたっていないので、残り20数年ある訳ですが、そんな中で壊して立て直すということはもったいない話です。
委員	無駄ですね。その辺もびっくりしました。まさか借地であるとは思っていませんでした。
会長	統廃合となった時に、壊して建て替えるというのがどうなのかとなってきます。そういう意味では2館残してもらわないと困ります。
委員	だいたいスタートの時点でおかしいと思います。市役所が借地ですということと同じことです。絶対的なものを立てるのは自分の土地に建てるのが当たりまえです。全部ではないと思いますが、びっくりしました。たとえば地主と交渉したのですが売ってもらえないとかいったことをやらないと、ずるずる借地ですでは解決しないと思います。どれぐらいの金額になるものなのかわかりませんが、イニシャルコストはかかっても買うべきだと思います。借地料がずっとかかるということは、非常にもったいないです。
会長	一番困るのは更地にして返還しなければいけないことです。ということはまだ20数年しかたっていないものを壊して、また用地を取得して建てるとなると大変なことです。
委員	20数年お借りしているので、買収をお願いすることがベターだと思います。その辺は交渉してもらったらどうですか。
会長	対応年数も残っていますので。
委員	対応年数は帳簿上の話で、実際であればもっと持つと思います。修繕して本当にダメになるまで使うというのが基本です。50年経ったから潰しなさいというものでもないでしょう。資源の無駄です。

会 長	納税者のものですから。
委 員	見直しをした時の影響で、外部委託や民間になった時に市役所の関係課や学校との連携が懸念されると書いてありますが、この部分で、湖南省は独特で他市町に比べて図書館と学校とのつながりが深いと思います。いろいろな流通のシステムを使って、学校図書館だけでは資料が足りないので、図書館との流通システムは他市町よりも優れている部分なので、そのことは外部委員の方にも認識していただきたいと思います。
会 長	外部評価委員さんが図書館を使っている方なのか、使っている方であればいつも使っている図書館と比べることもできますが、図書館を使う習慣のない方であれば説明も違うようになると思います。まして、学校図書館との連携というのは湖南省が独自だと思うので、説明しないといけないと思います。
委 員	本の返却についてですが、まちづくりセンターに返却して、まちづくりセンターから便がありますので、それでこちらに運んでもらうとかいったことが現実的に可能なのかどうか、借りる時は図書館に来ないとできないが、そういうことができれば助かる方もいらっしゃるのではないですか。自分で借りた本は自分で返すのが原則だとは思いますがどうですか。
会 長	そういう便はありますか。
委 員	あると思いますが、職員が東庁舎に来るついでに持ってきてもらうとか、普通民間企業ならば社内封筒というものがあって、営業所とかにそういったもので送ったりしています。やろうと思えばできるのではないのでしょうか。公の施設の窓口を持っていけば代わりに反してもらえるというシステムを検討されたらどうでしょうか。
委 員	まちづくりセンターにブックポストを設置するということですね。
委 員	返却用のポストです。そこに入ったものを毎日でなくてよいので定期的に運ぶということです。
委 員	先日蔦屋に行ったら郵便ポストでも返せるようになっていました。
委 員	本は大事なものですから粗末に扱うなと言われればそれまでですが、先ほどから交通手段がないと言われている方もいらっしゃるのでは、考えていくべきだとお思います。
委 員	高齢者だけでなく、子どもにとっても図書館は知識の宝庫なので、図書館は大事だから、子どもたちも図書館に行く方法が必要です。自動車を運転しないので、図書館で本を借りてもなかなか返せないです。返せないと思うと借りなくなります。
副館長	本の管理責任ということで、無くなってしまったということもあると思いますし、市民の財産ですので、そういったことも検討しながらということになると思います。

委員	<p>今おっしゃられたように返すことがネックになって借りにくい。私も一度借りると返却日が頭から離れないということがあります。公有物ですので。本は市民の間で常に動いているということで、図書館としては管理が大変だと思いますが、その辺をどのようにクリアしていくかということになります。返却することがしょうがいになって借りにくいというのは図書館としても本意ではないと思いますので、事務局の方で検討していただいて、柔軟に市民の間で回転するように検討していただきたいと思います。</p>
会長	<p>みなさんからご意見いただきましたので、当日は利用者、納税者、市民感情としてどうだということをお話させていただきます。教育長個人的な意見で結構ですので、ご意見をお伺いしたいと思います。</p>
教育長	<p>非常に活発なご意見を出していただきましてありがとうございます。出た意見の中で、これは個人的な意見ですが、ブックポストの返却をもっと便利にすれば活用しやすいということで、池田市などは街角でブックポストを置いて返却の便宜を図ったりしていると思います。図書館の方でもそういった情報はもっていると思います。いろんなやり方は考えられるのではないかと思います。図書館は公費を使った公共ですが、本は読まれればぼろぼろにもなりますので、そういう意味では消耗品的な要素も強いです。そういうことから便宜を図っていくということは大事だと思います。それから、湖南省の場合は学校と公共図書館とが緊密に連携しているという事例があります。他市から転勤してきた学校教員が湖南省ではこんなこともしておられるのかと驚くくらいです。たぶん評価委員さんは知らないと思います。そのところは学校と図書館との連携の事例としてもっておいて、湖南省の独自の動きをお伝えする必要があると思います。教育委員会としても学校図書館を活用した事業のひとつとして、公共との連携ということで、学校司書というのも各校に配置して、常勤配置になってはおりませんので課題はあるのですが、文科省との指定等を受けながら先進地的な取り組みをやってきていますので、その方向はこれからも続けていこうと思っています。これは全く個人的な意見ですが、2館の必要性和新たな図書館サービスですが、私自身は3館必要であると思っております。日枝中校区ですが。ここにも書いてあるように1.5km以内の利用率は非常に高いというデータからするとやはり日枝中校区にぜひ必要だと思っています。今の行革の方向とは全く違いますが、個人的な意見として市長、副市長にも伝えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>今の図書館の数の問題ですが、だいたい図書館業界では中学校区に1つあるのが望ましいという意見が多いです。</p>
教育長	<p>夏休みに東京の杉並図書館の方に行ってきましたが、ここの図書館は民間委託しておりましたけれども、館長に話を聞きました。杉並区は歩いて行ける距離に図書館をつくらうという発想で、建物は非常に古いですが、そうやって図書館を運営し</p>

	ております。1つのアイデアとして聞いておりました。
委員	子どもたちにとっては歩いて行ける距離にあるのが必須だと思います。私は自動車を運転しませんので、子どもを連れていくときは巡回バスで行きました。子どもたちが読みたいと言った時は自転車でも行きましたが、近くに図書館がほしいです。今の段階では実現は難しいでしょうけれども校区に1つということであれば菩提寺にもほしいです。高齢化と言ってもこれからの湖南省をつくっていくのは子どもたちなので、子どもたちの心や言葉を育てていくというのはお金では替えられない。そういう環境を守るのも大人の仕事であると思います。
会長	みなさんから貴重なご意見いただきましたので、私なりに咀嚼して当日話したいと思います。議論が出尽くしたと思いますので、残りの議題に入ります。4番が手短なので4番を先にお願いします。本来なら副会長が説明するということでしたが、本日は欠席ですので、事務局の方からお願いします。

## 【ビブリオバトル in KONAN について説明】

会長	当日参加できる方があれば、オーディエンスでも結構ですので、よろしくお願いします。ビブリオバトルはこれくらいにして、3番の方に戻りますが、事務局の方からよろしくお願いします。
----	--

## 【図書館評価について説明】

会長	説明ありがとうございました。これに関して皆さんの方からご意見、質問等がありましたら、よろしくお願いします。
会長	質問ですが、先進地の事例で日本図書館協会プロジェクトチーム作成とあるのですが、今からさかのぼる6年ほど前に図書館協議会でその当時の日図協のモデルで、やったことがあります。
副館長	図書館評価のためのチェックリストというのがありまして、そちらのもののもとになっていると思われまます。
会長	プロジェクトチーム作成というのはかなりバージョンアップされていますか。単なる微修正というよりはそれなりに時代も変わっておりますし、文科省からガイドラインも出ていますので、変わってないとおかしいんですけど。
副館長	図書のチェックリストというのは図書館協議会がありますかとか、連絡の配本車がありますかとか、学校図書館の資料貸し出しはしていますかとか、といったようなしていますか、していませんかという形だったのですが、今度は数値で、例えば予約何件ですかというような数値目標で、人口何万人から何万人の自治体にある図書館のうち上位10%というのを到達目標にしましょうということで、良い数値を出している図書館とそうでない図書館に差がありますので、平均だったら良いというものではなく上位を目指しましょうというような趣旨になってくると思われまます。ただ、237項目をやっけていこうとすると大切なことではあります、評価のための



	仕事というのが増えてくるということになりますので、本来業務に支障が出るようでは何もないということで、絞り組んでいければよいと考えております。
会 長	何か皆さんの方からご質問、ご意見はないでしょうか。
委 員	議会だよりの中で8月ぐらいだったと思いますが、議員の質問の中で読書意欲の向上について、どのような話だったのか議会だよりに載っていないので、どのような話だったのかご存知ですか。
館 長	どちらかと言いますと、学校図書に関しての質問であったと思います。内容的にはアニメーションあるいはビブリオバトルを活用して読書の振興を図ってはどうかというような質問であったと思います。学校としてはビブリオバトルよりもアニメーションを積極的に取り組んで進めていくといった回答であったように思っています。詳しくは会議録もホームページに載るとと思いますので確認していただければと思います。
委 員	前に戻りますが、湖南市のこれからの図書館評価ですが、これは今作業中ですか、目途としてはいつまでですか。
副館長	次回の図書館協議会の時までに図書館の方で図書館の事業方針の中で、今図書館が集計している指標について、ピックアップしておきたいと考えております。それをすべて評価項目にするかどうかも含めまして、どれが評価項目にふさわしいかということについてご意見をいただきまして決定したいと考えています。第3回で提示させていただいて、ワーキンググループのような方法も検討いただければありがたいと思っております。第4回で決定し、評価をするのは次の委員になります。
会 長	今事務局からワーキンググループという言葉が出たのですが、実は図書館協議会年4回ということで定例化しております。過去において答申案をつくる時に小委員会をつくって、年4回の枠を離れて有志を募ってやっていくということで、ワーキンググループ以外の人にも承認いただけるということをお前提にして、少人数でやりました。要するに年4回の枠を離れて、特定の項目についてももう少し頻繁に集まり、全委員が揃わなくてもよい形で小委員会あるいはワーキンググループという形でやったことがあります。私もこの評価に関してはこのような形で進めたほうが効率的で、問われたことに関して短期間で図書館に返すことができるということで、好ましい方法だと思っております。ただ、今おっしゃったように次回でどのような評価項目であるかを定めるのが第4回であり、実際の評価は次期になると思っておりますが、とりあえず第3回の時に事務局の方から外部評価指標と目標を出していただきます。それでは1から4まであらかじめ決められた議題は終了しましたので、残り15分ぐらいですが、次回の日程の確認と意見交換したいと思います。昨年も参加いただきましたが、例年12月は滋賀県下の図書館協議会の委員の交流会ということでやっておりまして、今年は11月29日の土曜日の13時15分から約3時間というこ

	<p>とで日程が決まりました。本来の図書館協議会ではなく参加できる方はこの日に万障繰り合わせていただきたいということですが、第3回の協議会を事務局の方では同じ日の午前10時から12時に石部図書館で考えているのですが、午後は切り離していただいて、都合が悪い方はいらっしゃいますか。できれば11月29日の午前に定例の第3回を開催し、その後希望者は公用車を用意していただいて12時45分には出発したいと考えておりますが、11月29日の午前に予定のある方はいらっしゃいますか。差支えないようでしたらこの日に石部の図書館で第3回ということで、図書館評価に関しまして議題にあがると思いますので、そのように仮にさせていただきます。また、県立の参加については人数確認のため事務局から問い合わせが行くと思いますので、あくまでも興味のある方ということですので、出欠の方問い合わせがありましたらよろしくお願いします。ぞれでは意見交換また、事務局から連絡等がありましたらよろしくお願いします。</p>
副館長	<p>先ほどお話をさせていただきましたが、湖南省の第2次子ども読書推進計画ですが、生涯学習課が事務局で素案を作成して、まとめているところですが、意見を聞く機関として図書館協議会にお願いしたいということで、パブリックコメントまでに1度意見をお伺いしたいということでお送りさせていただきたいということで生涯学習課の方からお願いがありました。</p>
会長	<p>スケジュールはどういう形ですか。</p>
館長	<p>素案を本日提示をする予定で進めていたようですが、不備もあって間に合わなかったの、11月に入ってからになります、それぞれ送付をさせていただきたいということです。</p>
副館長	<p>11月29日にご意見をいただくということも出来ると思います。</p>
会長	<p>図書館協議会の日程での回答で間に合うということで、効率的に進めるために事前に送付していただいて、意見聴取ということで進めます。</p>
館長	<p>パブリックコメントをされて修正が必要な箇所は修正されると思いますが、年度末をめどに策定される予定です。</p>
副館長	<p>もう1点は新聞記事の紹介ですが、何かありましたらお答えさせていただきます。</p>
会長	<p>新聞記事以外でも何かありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>評価委員の方は図書館を利用されている方でしょうか。</p>
会長	<p>全くわかりませんので、最初に質問をしようと思っています。</p>
委員	<p>地域的には外部の方ということですか。市民ですか。</p>
会長	<p>それもわかりません。肩書きだけがホームページに載っているだけなので、行政</p>

	のことに関しては詳しいかもしれませんが、図書館に関してのどうなのかわかりませんので、市民目線で納税者として当日お話ししたいと考えています。
委員	図書館も指定管理という話ですか。
副館長	指定管理ありきということではないですが、そういったことも検討しておくようにということで、聖域ではありませんよということです。
委員	まちづくり協議会も指定管理ということで進んでいます。私もある評価委員会に出たことがあります。住民票のコンビニ公布のことでした。反対された先生もありましたが、来年2月からはスタートするというので、市民に意見を聞いてからスタートということですが、ある程度既成路線があったのではないかと考えています。
委員	行政が決定したから市民はどうしようもないという考え方ではなく、市民も声を上げることが大事だと思います。
委員	民間委託については、図書館協議会としては民間委託はなじまないという答申は出さしていただいております。話は違いますが、全国図書館大会これは毎年ありますが、今年東京であるそうなんです。こちらの職員は誰か参加されますか。
副館長	参加予定はありません。
委員	職員として、司書として参加した場合は公務員として、司書として市民のみなさんに還元しなければいけないと思います。これまでそういう発表の場がなかったように思います。このような勉強をしてきたので、図書館の仕事にこのように活かしたいとか、このような発見があったとかいったようなことをアピールされてもよいのではないかと思います。そういうところから図書館の仕事や大変なところが見えてくる。一般的には本の貸し借りだけの認識しか持ちえないので、改めて集会を設けるとなるといろいろ課題もあると思いますが、司書の仕事を市民にアピールする機会があってもよいのではないかと思います。
委員	図書館が市民にしていることの価値を思えば、民間委託にすることはできないということが必要ではないですか。
委員	そういうことも見えてくる。日頃の図書館の司書の仕事ぶりを知ってもらうことが必要である。その方がみなさんに納得してもらえますと思います。特に学校教育との連携などは一般の利用者にはわかりにくい。
委員	民間で委託された方は地域を育てようとか、地域文化に貢献しようとか、子どもたちを育てようとかという意識はないわけです。
委員	だから、公だからできる仕事をもっともっと皆さんに知っていただくことが大事です。
委員	その声が市民に浸透した結果、民間委託ではなく市が行うことが必要だという意見が広まることが大事なのではないではないでしょうか。

会 長	図書館に対して良い印象を持ってもらわなくてもよいので、まず興味を持っていただくということに目を向けるのが、我々委員の活動だと思います。そういう意見を持ち合って、県の図書館協議会の交流会でも話し合うことが重要であると思いますので、午後の部も時間が空いているようでしたら、皆さんよろしくお願いします。
委 員	今後の方向性の中に、図書館の利用促進とか、役立つ図書館というものが今後必要だとは思いますが、始めよう図書館のある生活というチラシについて、これはどうなったんでしょうか。これは作られたんでしょうか。
副館長	各まちづくりセンターにおいています。
委 員	この辺の PR をその都度図書館の利用をしていく必要があります。先ほどの実利用率では 20%の人しか図書館を利用していないということですから、もっとうまい PR の方策を機会があったらやっていった方がよいと思います。
会 長	20%という利用率について利用率の定義を説明してください。
副館長	1年間で図書館のカードを使って本を借りた方が市民の 20%であったということになっています。ですから、毎日来るけれども新聞、雑誌を見に来るという方は実は利用者の方に含まれておりません。講演会に参加だけしている方も入っていません。平成 22 年度に利用者アンケートをとりましたが、その時に何のために図書館に来ましたかという問いに対して、本を借りに来ましたというのが来られた方の 30%でした。残り 70%の方はほかの目的で来られています。調べものや新聞を読んだり、雑誌を読んだりということで図書館に来られています。そうすると実利用者は 20%ですが、図書館に来られている方は本当はそれよりも多いと思われませんが、なかなか数値に表せないのが、どのように訴えていこうかということはありません。
会 長	資料にありますか。
副館長	今回の資料としてはお出ししていません。
委 員	来館者数をカウントする方法はないのですか。センサーとかでやっています。
会 長	東京千代田の図書館ではセンサーでやられています。しかもエレベーターの出たところにありますので、何回でもカウントします。私 20 回くらいカウントされました。間違った認識で話されるようであれば、図書館が言いにくければ説明します。
委 員	本を借りられた方の数字ですと備考に書いておくべきです。
会 長	予定の時間が過ぎましたので、今のところは 11 月 29 日甲西ではなく、石部の図書館をお願いします。
副館長	石部の図書館も見学していただければと思っています。
会 長	厳密には石部文化総合センターの 2 階ということですのでよろしくお願いします。

また子ども読書活動推進計画が送付されてきますので、よろしくお願ひします。本日はありがとうございました。
---